

めざす子ども像

**気づく、学び、考える子どもを育てる**

取組目標

子どもにとって今何が必要なのかを常に考え、  
また、地域にとって何ができるのかを考えながら活動を実践していきたい

## 【今年度の取組紹介】

## 「 わんわんパトロール 」

新型コロナにより不確定な社会の中で、地域の人が子どもの安全を守る活動を新しく始めました。朝夕のペットの散歩時に「バッジの付いたバッグ」を持って散歩する事で、自然と見守り活動をする事が出来ました。それだけではなく、散歩する人々とのつながりも生まれ、地域コミュニティの構築にも役立ちました。新聞やテレビにも取り上げられ、大きな反響がありました。


北中学校区地域教育協議会 見守り活動の推進


## 「 とみきたダンスクラブ 」

幼稚園から小学生のダンスクラブ30人が発表会を開催。  
発表会では、生徒は学年・学校を越えて楽しく自分を表現する事ができました。  
来年度は、歌も取り入れて活動する予定です。


表面
裏面
裏面

## 【今年度のまとめ】

今年はコロナで活動がやり難い環境ですが、子どもは学び育つ為の環境が必要です。  
このなかで「わんわんパトロール」を開始し、地域の人々の共感を呼び、子どもの安全活動につながった事は成功でした。  
この事業で気を付けている事は「ビジョンをいつも明確に持ち、やらされ感が無い」事が必要です。次に「この活動はニーズがあるのか」が重要です。この事により、地域のコミュニティが構築されました。

## 【来年度に向けて】

来年度は、会長・総合コーディネーターが交代し、今までの事業を見直し新しい視点で活動を展開していきます。

めざす子ども像

## 気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

取組目標

様々な活動を地域に発信する意識を持ち、できる限り子どもたちが地域とのつながりを感じられる取組の充実

### 【今年度の取組紹介】

今年度はコロナ禍の中で活動が大きく制限される1年となりました。これまで、学校と地域とより深く連携していくために、生徒会が目指す取組を地域の方に理解していただきながら具体的な活動と支援をお願いしましたが、「学校力向上事業」として実施してきた東登美ヶ丘小学校や登美ヶ丘高校との朝のあいさつ運動や「防災教育推進事業」として実施してきた炊き出し訓練など、学校と地域の方、保護者の方と協力して実施してきた各事業が一旦途絶えました。しかし、感染予防に注意しながら「キャリア教育推進事業」として、講師の方に来校していただき、性教育、面接指導や労働に学ぶなどの講座は実施することができ、人間関係形成能力や課題対応能力を培いました。



### 【今年度のまとめ】

地域のつながりを深めるため、防災教育推進事業に力を入れていましたが今年度は実施できませんでした。しかしながら、今年度継続して実施できた事業を通して、地域と連携して、自分たちも地域の一員として貢献しなければならないことを理解し、災害時等における心構えにもつながられたと考えています。地域の大人から学ぶことの大切さも理解し、地域の大人と関わることでつながりを活性させ、その中で果たすべき自分たちの役割と責任を理解してくれているようです。

### 【来年度に向けて】

小中連携と中高のつながりを深めつつ、地域の方と協働する活動の内容を充実させ、本校区の学校ブランド力を高めていくとともに、学校活動に幅広い年齢層の方々に参加を求め、学校を起点とした新たな交流と地域の活性化につなげていきたいと考えております。また、地域に誇りを感じることができ、激変する未来においても活躍できる人材の育成に努めてまいります。

めざす子ども像

## 気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

取組目標

地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、子どもたちに地域とのつながりを感じられる取組の充実

### 【今年度の取組紹介】

《学習支援事業》地域の方による学習の支援

#### ◆家庭科実習支援

家庭科の裁縫実習において支援をしていただきました。複数の大人による支援が得られ、実習をスムーズに進めることができました。



《体験学習事業》ゲストティーチャーによる授業

#### ◆平和の話 / 昆虫の話 / 信楽焼体験 等

例年よりかなり数が減ったものの実施可能な体験授業は実施しました。どの体験も多くの児童たちにとっては初めての体験であり、活動を通してその楽しさや難しさを知りました。また、本年度の社会状況においても、児童に大切なことを伝えようと来校して下さる地域の方たちの思いなどを知ることができ、今後の生活などに生かしていくことができる取組となりました。



《環境整備活動事業》地域の方と共に行う環境整備

#### ◆通学路清掃、図書整備、

保護者の方や学校近隣の方に学校環境の整備を進めていただいています。本年度は本のブッカーかけを中心とした図書室の整備もしていただきました。児童と一緒に活動することができませんでしたが、きれいになった図書室を利用することで、環境整備の大切さを知りました。

### 【今年度のまとめ】

子どもたちは信楽焼体験等、日頃体験することのできない体験を通し、多くの事を学びましたが、新型コロナウイルス感染症のため、ふれあい学習や体験学習等の多くの事業が中止となったのはとても残念でした。

学習の中で招聘した地域の方とお話しをする児童が増えてきています。「地域で育っている心豊かな登美っ子」を意識させることができる貴重な学習であったと思いました。

通学路清掃や図書整備は地域の方と行いませんでしたが、きれいにしていただき、とても喜んでいました。見守りで立哨されていた地域の方にお礼を言う児童もいました。感謝の気持ちを抱く姿勢を大切にしてほしいと思います。

### 【来年度に向けて】

来年度は学年に応じた様々な体験学習や行事を行えるよう、実施の形態を考える必要があります。今後もっと保護者や地域の方々と連携を深め、さらなる交流や繋がりをもつことにより、心豊かで自分が生活をするこの地域に誇りを持てる登美っ子の育成を目指していきたいと思えます。

めざす子ども像

## 「気づく、学ぶ、考える子どもを育てる」

取組目標

- 地域人材を生かした体験的学習の充実と読書活動の推進。
- 恵まれた環境を生かした栽培活動や遊び・運動の推進。

### 【今年度の取組紹介】

#### ○昔遊び体験（1年）

例年実施している体験学習の1つですが、今年度は外部から講師等に来校いただいて活動するのが非常に困難な状況でした。新型コロナウイルス感染防止に努めるため、それに必要な道具をそろえたり、地域みなさんに安心して来校いただくために活動の形態を工夫したりすることで実施することができました。



「たけとんぼ」や「めんこ」、「おはじき」など9種類の遊びを体験し、子どもたちは、生き活きとした表情で楽しんで活動できていました。併せて、地域の方々に、子どもたちの様子と今年度の教育活動の様子を知っていただけたことは、今後の学校教育への支援の在り方を考えていただける貴重な場となりました。

### 【今年度のまとめ】

新型コロナウイルス感染防止に努めながら実施できたこともあれば、やむなく実施を中止した活動もありました。このような状況下で子どもたちが人と接することが少なくなり、コミュニケーション能力の育成の場が減少したことを実感しています。実施できた活動の様子や「地域の人と仲良くなれて、うれしかった」といった感動からも、子どもたちは活動だけでなく、人と話すこと、人と関わることを楽しんでいたことがうかがえます。人と人の関わりが、豊かな情操やコミュニケーション能力を育むことを再認識した一年となりました。

### 【来年度に向けて】

新型コロナウイルス感染防止に取り組みながら、様々な活動をするために必要な物品は整ってきました。それをふまえて、今後の活動形態や人数、活動そのものを精査するとともに、ICT機器を用いた活動やICT機器を活かして遠隔地に住む人との関わりによって、一層効果的な活動ができるように取り組んでいきたいと考えています。

めざす子ども像

**気づく、学ぶ、考える子どもを育てる**

取組目標

**豊かな心を持ち、いきいきと活動する幼児をめざして  
—遊びや人との関わりを通して—**

## 【今年度の取組紹介】

## ◆「感動体験事業」体操で遊ぼう

今年度より始めた「体操で遊ぼう」では、ゲストティーチャーの指導によるストレッチやコアトレーニング、楽しい曲に合わせてリズム運動など、子どもが意欲的に体を動かして遊び、保護者参加の日は、親子で触れ合いながら体を動かし笑顔が溢れ楽しい時間を過ごしました。一緒に遊んだ体操や、手話ダンスは運動遊び参観や生活発表会などでも取り入れ、保護者や地域の方に参観していただき、子ども達がいきいきと活動し、力を発揮でき自信につながりました。



## ◆「環境整備事業」栽培活動やアイの生葉染め体験

保護者や地域の方の協力を得て子ども達と一緒に花壇やプランター、畑などで様々な栽培物を育てました。「かわいい芽が出てきたよ」と意欲的に友達と水やりをしたり「綺麗な花が咲いてきたね」と生長を喜んだり、自分達で育てた花や葉で色水遊びやごちそうづくりを楽しんだりしました。

アイの生葉染めでは、育てたアイの葉を刈り取り、お家の方と一緒に葉をもみ、Tシャツを染めました。「色が出てきたよ」と葉の色の変化や濃度に驚き、栽培から収穫、染物をしたTシャツは世界で一つだけの作品になりました。染めたTシャツを着て運動遊び参観で踊ったり、園内作品展に掲示したりして、家族や地域の方など多くの方に見ていただき園での豊かな体験を伝える良い機会となり、親子共に達成感を味わうことができました。



## 【今年度のまとめ】

- コロナ対策として今年度は2学期からの活動となりましたが、様々な方の協力を得て多くの感動体験ができ、自分の気持ちを素直に表現し、人と関わる楽しさを感じ、豊かな心が育ちました。
- 地域、保護者の方と一緒に活動することで子ども達は楽しみながら、ルールやマナーを知り、守ろうとする気持ちが育ってきています。
- 活動の様子をホームページや園内に写真を掲示したりすることで、保護者、地域の方が園の教育に関心を持ち、理解と協力をしていただくことができました。

## 【来年度に向けて】

- コロナ禍での人々との触れ合いの仕方や活動方法などを工夫しながら、地域や保護者の方と情報交換し協力を得て、事業を進めていきたいと思えます。
- 子どもの好奇心や創造性を刺激し、遊びや生活の経験が豊かになる活動を継続して行い、積極的に活動の様子を発信して、地域の中での幼稚園教育の役割を果たしていきたいと思えます。

めざす子ども像

**気づく、学ぶ、考える子どもを育てる**

取組目標

**地域とのつながりを大切にし、子ども達が、楽しさ・温かさ・思いやりを感じられる充実した取組を行う。**

## 【今年度の取組紹介】

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、4月5月と休園になりました。6月から再開された園を、地域の方が草刈りやプランターに花を植えてくださり、子ども達の為に環境をきれいに整えていただきました。

子ども達は、園庭で思いっきり走って鬼ごっこをしたり、サッカーをしたり、花で色水遊びをして、本来の園での生活に少しずつ戻っていくことができました。



色水あそびでは、花をすり鉢でこすり、色を出すことを楽しみました。また、できた色水を混ぜ合わせることで違う色になることを知り、予想を立てながら繰り返し遊びました。5歳児になると、置いていた色水の色が薄くなっていることに気づき「お日さんにあたったからや。影に置いていたら薄くならないと思う。」と仮説を立てて、実験してみようとする姿がみられました。環境を通して『気づく・学ぶ・考える』を体験し、感動体験につながることができました。

サッカー教室では、『NPO 法人ソレステレージャ奈良2002』のコーチに来ていただき、4歳児5歳児がサッカーを通して、体を動かす楽しさを味わうことができました。特に4歳児は、3歳児の頃からあこがれをもって見学していたこともあり、意欲的に参加し試合形式も楽しむ姿がみられました。



## 【今年度のまとめ】

今年度は、新型コロナウイルス感染予防の為、地域の方とのふれあいが少なくなりましたが、環境を整えていただき、この状況下でも子ども達はのびのびと成長することにつながりました。また、新型コロナウイルス感染症対策を地域の方にもご理解いただいたことで、2学期後半から少しずつ地域の方との温かなふれあいを行うことができ、来年度へつなげることができました。

## 【来年度に向けて】

新型コロナウイルス感染症対策を十分に取ると共に、地域・学校・園との連携を取りながら、子ども達にとって温かなふれあい体験や感動体験ができるよう、園活動の充実に取り組んでいきたいと思えます。